

令和 4年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名 狛江市

学校名 狛江市立 狛江第五小学校

1 事業目的 協議会名 狛江五小グリーンプロジェクト

・狛江第五小学校および地域における、よりよい教育環境の醸成に寄与すること。  
・学校と地域とのコミュニケーション形成を図りながら、校庭芝生面の維持管理作業を行うとともに、子どもたちに、芝刈り体験を通じて芝生を育成することの楽しさや、地域への貢献について興味や関心を育むこと。

2 主な取組と成果

【主な取り組み】

- ・定期的な芝生維持管理活動
- ・芝生維持管理活動を通じて地域ボランティア方との交流
- ・定期的な広報誌「しばふ通信」の発行
- ・お琴と抹茶をたのしむ会の開催
- ・夏まつりでの芝生での水遊び
- ・狛江5小1年生への芝生学習

【成果】

・本事業を活用することで、地域の皆さま・保護者・児童が芝生を通じて交流がはかれ、親交を深めることができた。また芝生の維持管理活動への理解と協力が得られた。

3 取組内容

【芝生作業・芝生会議】

4月23日～10月29日まで週1回プロジェクトメンバーで作業を実施。

10月15日にウインターオーバーシーディングを実施。

芝生会議を毎月1回開催※8月は休会、12月以降も各月1回実施予定。(参加者:プロジェクトメンバー)

【しばふ通信の作成・発行】

しばふ通信1～2号を作成。昨年に続き、今年は学校のHPに掲載し、掲載したことを保護者および協力団体、関係者にメールで案内を行い各自で参照してもらうことを行った。現在、しばふ通信特別号を作成中。12月中に印刷業者に依頼して作成し各家庭および関係者に配布予定。

【お琴とお抹茶をたのしむ会】

10月8日(土)15:00～16:30 狛江高校箏曲部、狛江琴こども合奏団による演奏会を開催。新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、近隣住民の方や、芝生作業に協力いただいている方をお招きして、観覧頂き、日頃の協力への感謝をお伝えする共に、芝生を地域交流の場としてなるように活動を案内。

※観覧者:大人:50名、子供17名、お抹茶(ペットボトル)を提供。参加総数は100名以上。

【夏まつり】

7月23日(土)五小夏まつりにて、芝生でスプリンクラーを使用しての水遊びを新型コロナ対策として3部制に分け5分間ずつ実施。夏まつりのハイライトとして定着している企画で、多くの児童が参加し、楽しい時間を過ごしました。

【芝生学習】

7月9日(土)1年生の授業で芝生作業の体験学習を実施。芝と雑草の見分け方や芝刈り機の使い方を説明。

低学年の児童へ芝生を育成することの楽しさや地域への貢献について興味や関心を育むことができた。※今年度初の試み。来年度からも継続の予定。

4 今後について

次年度以降も新型コロナ感染予防を前提とした活動計画が求められることが予測されるが、3密回避が可能な芝生という環境の強みを活かし、学校や地域と連携しながら特色ある取り組みを実施していくことで、芝生の維持管理活動への興味関心を高めるよう努めていく。(クラスごとの芝生作業＝「クラス作業」の復活検討、低学年向けの「芝生学習」の回数増、「お琴とお抹茶をたのしむ会」の継続など)